

大学の「学習成果」を再考する

1. 目的と概要

「本協会の諸事業に資するよう、国内外の大学評価に関する調査研究を行うとともに、その成果を会員大学の利用に供すること」を目的に、本協会は大学評価研究所を設置しております。そしてその事業の一環として、定期的に公開研究会を開催し、関係者との研究成果の共有や意見交換の機会を設けています。今回は、あらためて、「学習成果」の意義を問う研究会を開催します。

大学に対して様々な政策的、社会的要請があるなか、「学習成果」とその挙証のあり方については様々な検討がなされ、試行的な実践が展開されてきていることでしょう。この「学習成果」をめぐる課題の検討やその実践的営みを実りあるものとしていくためには、「学習成果」の構成要素が多岐に亘っていることを再認識することがまず大切です。同時に、「学習成果」の的確な把握とその適切な活用が望まれる一方で、それらの扱いの困難性にも十分な配慮が必要となってきます。

そこで今回は、以上の点に関し当研究所紀要『大学評価研究』第20号にご寄稿くださった方から2名をお招きし、講演及びディスカッションから成る研究会を催します。何れの方も学習成果を巡って学識及び経験の深い識者であり、この研究会が当研究所の活動に新たな広がりをもたらすのはもとより、関係者における議論の深化につながっていくことでしょう。多くのご参加をお待ちしております。

2. 開催日時・形態・プログラム

※敬称略

日 時	令和3年11月22日（月）10：00-12：15
開催形態	オンライン開催（Zoom）
プログラム	
10：00-10：05	開会・本日の公開研究会について
10：05-10：25	導入発表 田代 守（公益財団法人大学基準協会 評価研究部 部長）
10：25-10：55	研究発表① 溝上 慎一（学校法人桐蔭学園 理事長、桐蔭横浜大学 学長・教授）
10：55-11：25	研究発表② 高橋 哲也（大阪府立大学 副学長（統括）、高等教育推進機構 教授）
11：25-12：15	パネルディスカッション 登壇者：上記3名